

通信文化新報

メリークリスマス

サンタがやって来た

成田空港内2局



「サンタさ～ん」と呼びかける園児たち

千葉県印旛地区連絡会(統括局長 武田 一郎 成田吾妻局長)の成田空港内局(伊能裕治局長)と成田空港内第二局(北川弘幸局長)に十一月十一日、フィンランドからサンタクロースがやって来た。日本・フィンランドサンタクロース協会が主催する「サンタが街にやってくる in 東京」(通信総合博物館)に出席し、手紙を受け取るため来日した。「サンタさんへの手紙」事業は書く喜び、もらう喜びを覚えてもらうために全国の子どもたちから募集し

ているもので、今年で十周年。また特別企画として、投函された手紙が一番多かった地域(人口割合で決定)にはサンタクロースが訪問する。

サンタクロースはまず成田空港内第二局を訪れ、空港マスコットキャラクターの「クウタン」、空港内にあるたんぼぼ保育園の園児など子どもたちの出迎えを受けた。歓声に包まれて登場したサンタクロースとサンタクロース中央郵便局のタイナ・オッリラ局長が、園児一人ひとりから直接手紙を受け取った。

続いて成田空港内局へ。局前ではサンタクロースのお面をつけた香取保育所の園児が父母とともに待ち受けた。子どもたちの「サンタさ～ん」の大きな声で登場すると、駆け寄る園児とサンタのほのぼのとしたふれあいが続けられた。「いちたすには、さんた」とみんなで写真撮影の後、思い思いに書いた手紙をサンタクロースとオッリラ局長に手渡した。

サンタクロースと過ごしたひとときは子どもたちの大切な思い出。テレビや新聞を読んだ人から早くも「来年も来るのですか」という問い合わせが殺到しているようだ。